郷土が生んだ偉人

清水卯三郎　研修会

メンバーより、郷土羽生の清水卯三郎を紹介された

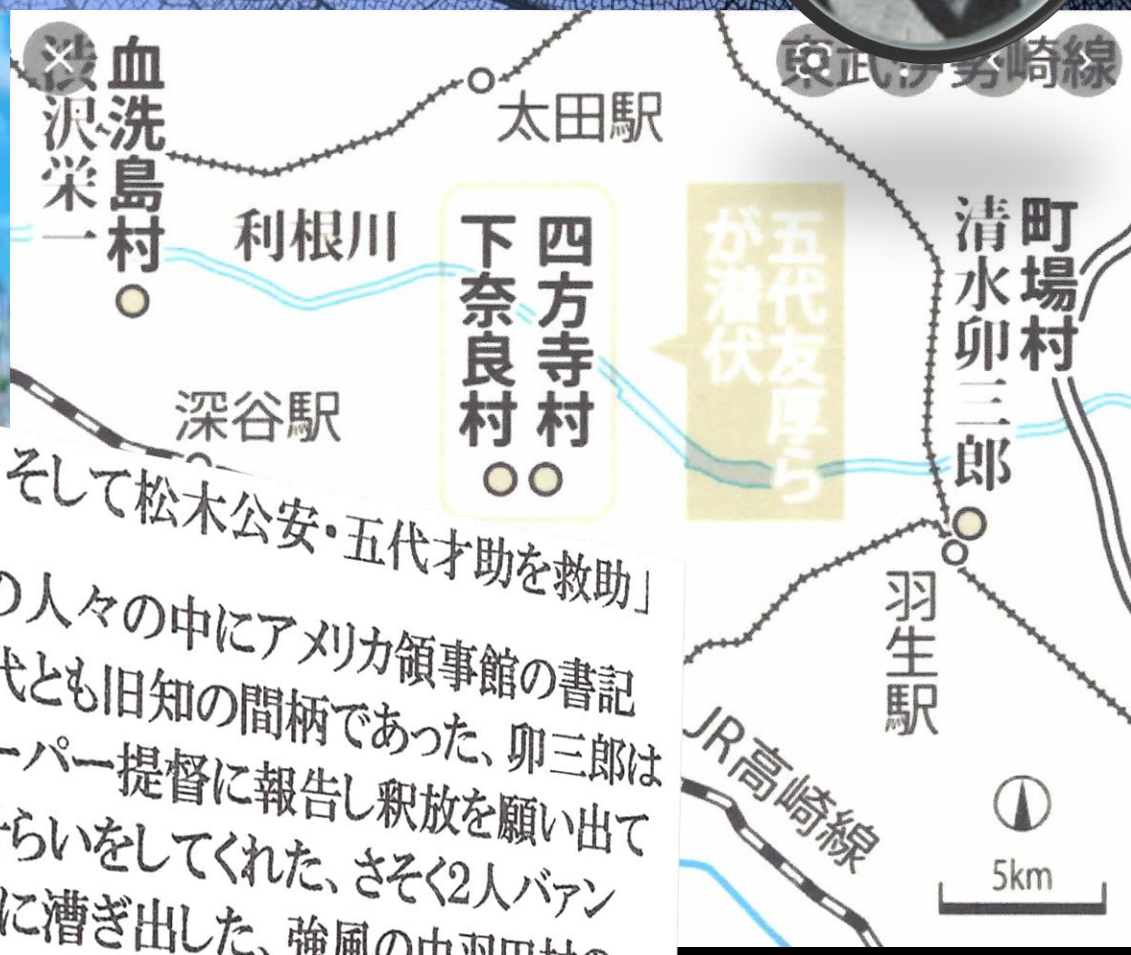
ここがポイント!! ♡

荻野家は!! ♡公民館長

郷土が生んだ偉人

清水卯三郎　研修会

ここがポイント!! ♡



「薩英戦争のイギリス旗艦の通詞になる・そして松木公安・五代才助を救助」

イギリス艦隊は横浜に帰着したが出迎えの人々の中にアメリカ領事館の書記生のバアン・リードがいた、彼は松木や五代とも旧知の間柄であった、卯三郎はバアン・リードに2人のことを相談し彼はクーパー提督に報告し釈放を願い出てくれた、提督は、これを受け入れ寛大な計らいをしてくれた、さそく2人バアンリードの用意してるれた小舟に乗り江戸湾に漕ぎ出した、強風の中羽田村の浜に上陸し川崎大師の土手のあたりに辿り着き六郷川を遡り六郷の渡し場に着いた頃には夜も明けていた、卯三郎のいる江戸小舟町の船宿鈴木に着いた時には昼近くになっていた、このまま江戸にとどまるのは危険と考えた卯三郎は二人を伴って、大宮に一泊、さらに桶川に一泊しして彼の故郷の武蔵国羽生村へ赴いた。二人を宿に留まらせ兄に相談しようと考えたが生真面目な兄では結果でないと判断し、親戚の四方寺村の吉田六左衛門宅に連れっていつた六右衛門は話を聞いて厚遇してくれたが、数日後、西へ十町ほど離れた下奈良村の分家吉田市右エ門のはなれが安全だということで、二人はそこえ移って身を隠した、人目を避けて外出も控え屋内で静かに過ごした。